






学 部 長	所 属 長	本 部 長	副 本 部 長	室 長
				

令和4年 3月 25日

理 事 長 殿

学 長 殿

令和3年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症
対策支援プロジェクト研究報告書

標記の件に関しまして、別紙のとおり報告いたします。

また、本研究報告の内容は、近畿大学学術情報リポジトリ（KURepo）に公開する旨、承諾いたします。

1. カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 開発・提案 /カテゴリーNo 12
2. 企画題目	新型コロナウイルス感染症流行下でのがんサバイバーの健康関連 Quality of life (HRQOL) や酸化ストレスに対するコメディエーの有効性

研究代表者

所 属： 医学部内科学教室（心療内科部門）職・氏名： 医学部講師・阪本 亮 

令和3年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	新型コロナウイルス感染症流行下でのがんサバイバーの健康関連 Quality of life (HRQOL) や酸化ストレスに対するコメディ어의有効性
研究者所属・氏名	研究代表者：阪本 亮 ^① 共同研究者：小山敦子 ^① 、本岡寛子 ^② 、塩崎麻里子 ^② 研究者所属：①医学部内科学教室（心療内科部門）、②総合社会学部心理系専攻

1. 研究、開発・提案 目的及び内容

<p>【研究の目的】 29日間コメディ鑑賞を実施することで、コロナ禍におけるがんサバイバーの HRQOL (Health Related Quality of Life:健康関連の生活の質) に対する有効性を調査する。</p> <p>【研究計画の内容】 がんサバイバーの HRQOL に対してコメディの有効性を検討するため、前後比較試験を実施する。毎日15分以上コメディ映像を鑑賞して HRQOL や酸化ストレス値、精神状態の変化を調査し、有効性を確認する。</p>

2. 研究、開発・提案 経過及び成果

<p>【研究の経過】 2021年9月に医学部倫理委員会にて本研究を承認いただき、すぐさま実施をする予定でしたが、COVID-19の感染再拡大などから開始時期が大幅に遅れております。総務広報課の協力のもと2022年3月28日に本研究についてプレスリリースを行います。プレスリリースをもって被験者の募集を開始し、研究開始となります。初回被験者来院は4月1日を予定しております。</p> <p>【研究の成果】 現時点では研究開始できておりませんが、がんサバイバーの HRQOL や酸化ストレスに対して、お笑いを介入方法として用いた研究は、国内外で報告例がない非常に新奇性の強い研究になります。また効果が実証されれば、有効な選択肢の一つになりえると考えております。</p>
--

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・提案 計画

【今後の研究計画案】

- ①本研究は探索的な研究でありますので、研究結果で一定の効果を実証することができれば、より大規模なランダム化比較試験などを組んで実施できればと考えております。
- ②本研究結果を基に、地域ごとの違いなども検証できれば興味深いデータが出るのではないかと考えております（大阪と東京、それ以外の地域）。
- ③本研究結果から、配布できるような冊子を作成することで、がんサバイバーの皆様や一般の方へ提供するなどの貢献も可能であると考えます。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類（著書・雑誌・口頭）	発表年月日(予定を含む)
antioxidants	医学雑誌	2022年10月に投稿予定
日本心身医学会	口頭発表	2023年7月1～2日に発表予定

5. 研究、開発・提案 課題の成果発表等

--